

Q 「キー」の設定とは何ですか

A レプロの要素と Excel ファイルや CSV ファイルの情報を紐づけるためのプロパティ項目を設定します

[データリンク]や[プロパティの読み込み]、[プロパティの参照]コマンドなどでは、レプロの要素と Excel ファイルや CSV ファイルの情報を紐づけるためのプロパティ項目を「キー」として設定します。

「キー」で設定したプロパティ項目の値が一致する要素に対して、情報の読み込みや出力を行います。

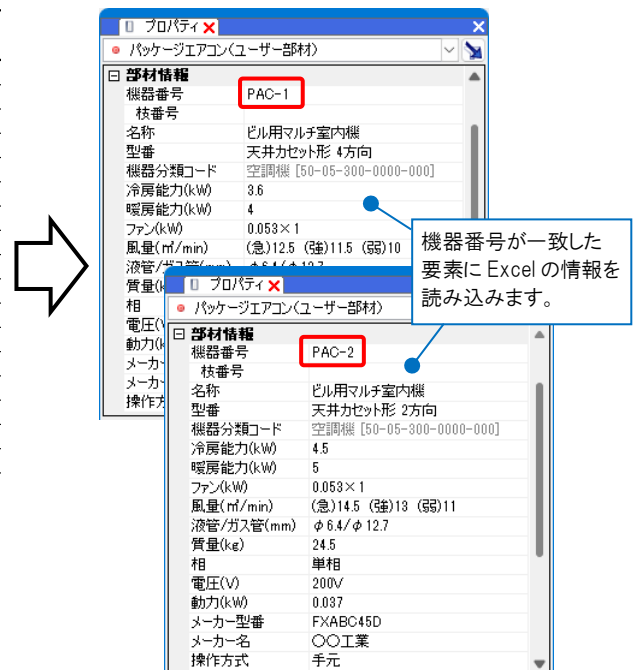
Excel ファイルや CSV ファイルの情報が、図面上の要素と 1 対 1 の関係で紐づいている内容の場合は、[識別情報]-[GUID]を「キー」とします。GUID は図面内で一意に定まる要素の ID 番号です。

また、1 つのプロパティ項目では紐づけできない場合、複数の項目を「キー」として設定できます。

ここでは[データリンク]、[プロパティの読み込み]、[プロパティの参照]コマンドでの「キー」の設定方法をご紹介します。

例)[データリンク]コマンドで、プロパティ項目[機器番号]を「キー」として要素に情報を読み込み

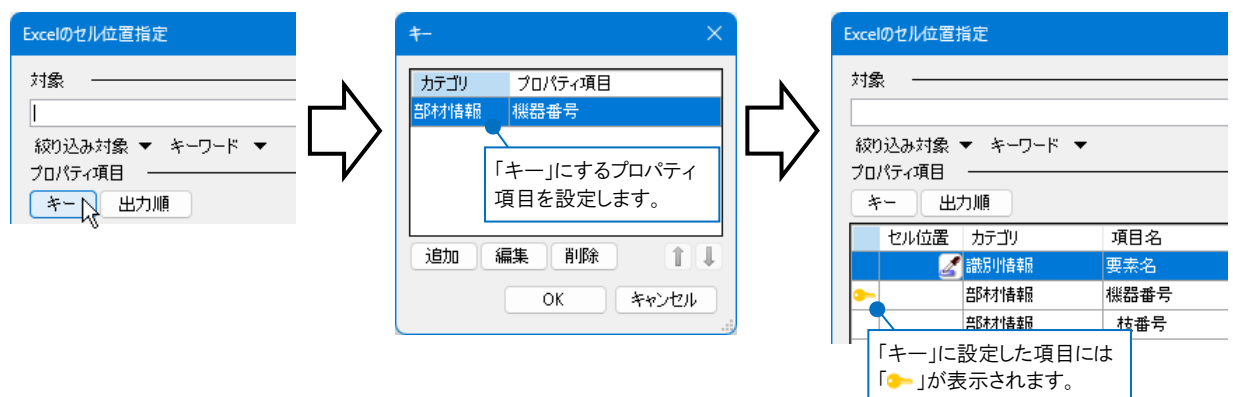
記号	名称	機 器 仕 様	
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 4方向
		冷房能力(kW)	3.6
		暖房能力(kW)	4
		ファン(kW)	0.053×1
		風量(m ³ /min)	(急)12.5 (強)11.5 (弱)10
		液管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7
		質量(kg)	24.5
PAC-2	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 2方向
		冷房能力(kW)	4.5
		暖房能力(kW)	5
		ファン(kW)	0.053×1
		風量(m ³ /min)	(急)14.5 (強)13 (弱)11
		液管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7
		質量(kg)	24.5



▼[データリンク]の場合

[ツール]タブ-[データリンク]で、タイプの設定後、[Excel のセル位置指定]をクリックします。

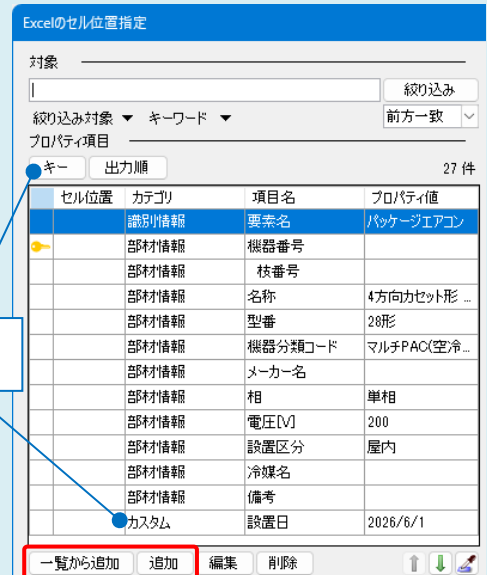
[Excel のセル位置指定]ダイアログで、[キー]をクリックして「キー」とするプロパティ項目を設定します。



●補足説明

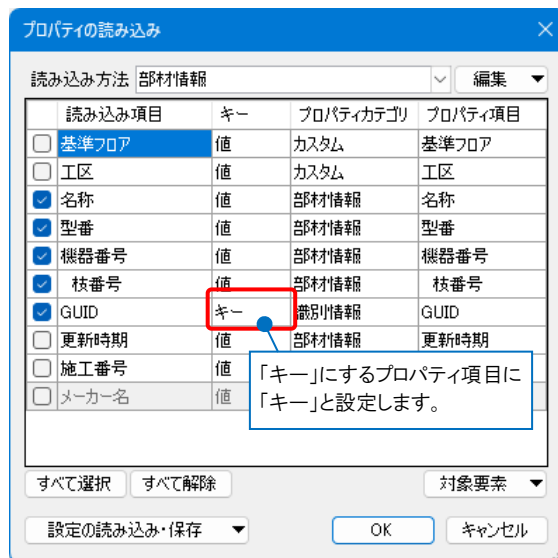
GUID やカスタムプロパティなど「キー」に設定したい項目が、[Excelのセル位置指定]ダイアログの[プロパティ項目]に表示されていない場合、[一覧から追加]や[追加]でプロパティ項目を追加してから設定します。

「キー」に設定したいプロパティ項目を追加してから、「キー」を設定します。



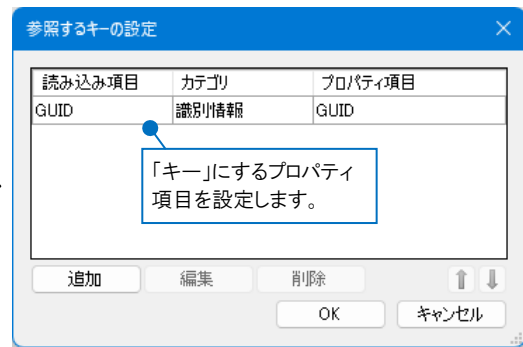
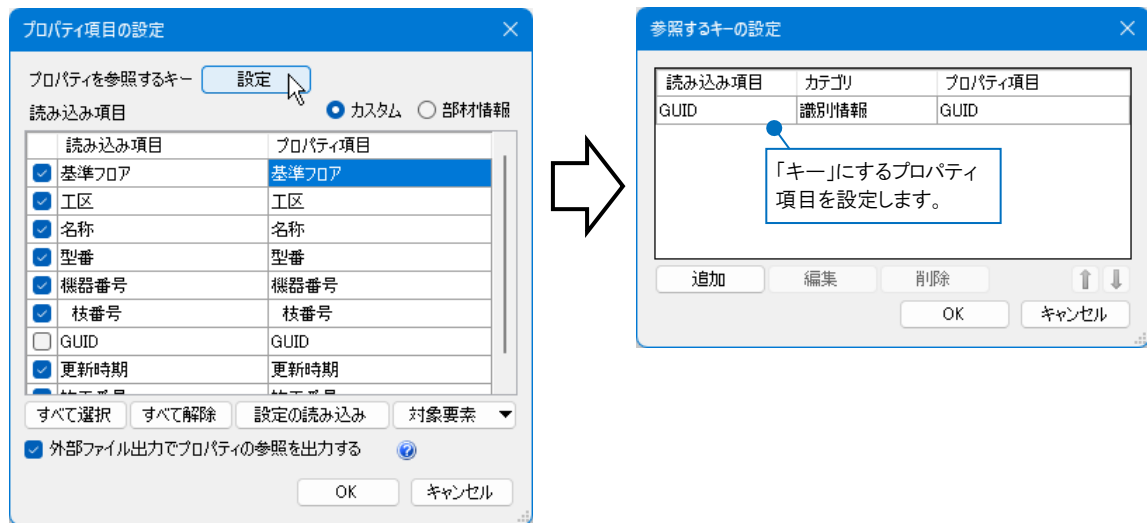
▼[プロパティの読み込み]の場合

[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの読み込み]で、読み込むファイルを選択して[開く]をクリックします。[プロパティの読み込み]ダイアログで、「キー」とするプロパティ項目にチェックを入れて、「キー」列で「キー」を選択します。設定できる「キー」は1つのみです。



▼[プロパティの参照]の場合

[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの参照]で[ファイルの追加]後、[プロパティ項目の設定]をクリックします。
[プロパティ項目の設定]ダイアログの[設定]で「キー」とするプロパティ項目を設定します。



●補足説明

[データリンク]や[プロパティの読み込み]、[プロパティの参照]コマンドの詳細な設定方法については、テクニカルガイド「[データリンク\(概要編\)](#)」「[プロパティの保存・読み込み・参照](#)」をご参照ください。

●補足説明

[表示]タブ-[パネル]-[部屋諸元]で、[追加]横の[▼]より[Excel ファイルからの読み込み]を行うと Excel ファイルから分類の追加ができます。このときに[種類]列に表示される「キー」の情報は固定のため、変更することはできません。

Excelファイルから読み込み	
タイトル表示名	種類
グループ	キー
フロア名	キー
部屋名	キー
容積[m ³]	読み取り専用
系統	